

## 難波西鶴と

## 海の道

【88】

森田 雅也

前回から、西鶴『武道伝  
来記』貞享4(1987)  
年刊』巻三の二「按摩とら  
する化物屋敷」の大部分の話を  
しています。新参者の軍  
学者堀田奥右衛門は、自ら  
熱望して城下の有名な化物  
屋敷を拝領します。早速あ  
る夜、異様な牛の化け物が  
現れますが、奥右衛門の殺  
気に腫して退散します。

次には14、15歳の女に化  
けて貞宗の銘刀と孫六の大  
脇差を持って現れ、「今  
までは人を化かしておびえ  
させ家から追い出してきま  
したが、あなたは肝の据わ  
った方ですのであきらめま  
す。この刀は、その人たち  
から奪ったものですが、こ  
れを差し上げますので、ど  
うかお屋敷の片隅の穴に今  
まで通り、住まわせて下さ  
い」と元氣なく話します。

奥右衛門はおかしくなっ  
て、「いつやら古たぬきの  
よつだな。そういついことな  
ら許そう。しかし、今夜は  
寂しいから2人で話そう」と  
肩までもませ、明け方ま  
で付き合かせます。その後  
は、化け物は現れなくなり、  
奥右衛門は殿から武勇の者  
として加増され出世しま  
す。

そのような時、郷里の但  
馬から早飛脚があり、兄が  
不慮のけんかで討たれ、相  
手の戸塚宇左衛門は四国の方  
へ逐電した旨の知らせが  
届きます。早速、奥右衛門  
は殿に敵討ちの許可と上意  
を得て、四国松山へと舟で  
乗りつけます。その地の叔  
母の家を隠れ家として、敵  
の居場所を土佐に、讃岐に

## 恋人・兵之助が敵の手がかり

探し求めますが、むなし、  
2年の月日が流れます。  
その間、軍学を教えて糧  
を得ましたが、弟子に大津  
兵之助という美少年がいま  
した。いつの間にか奥右衛  
門と2人は深い恋仲とな  
り、敵討ちの旅の身の上で  
あることを告げると、意外  
にも敵の宇左衛門と彼の父  
が知り合いて兵之助自身も  
顔を見知っていることが分  
かり喜びます。

そこに敵が今治に潜伏し  
ているという情報を得ます  
が、奥右衛門は急に激しい  
腹痛を起し、生死をさま  
よいます。誠心誠意看病す  
る兵之助。次回へ。

(関西学院大学文学部文  
学言語学科教授)

## 按摩とらする化物屋敷